

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	保険年金課長	森 啓匡
健福-46 障害者医療助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	保険年金課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳の1～2級を持つ障害者等
意図	障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。
効果	常時医療を必要とする多くの障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1～2級を持つ障害者等(所得制限あり・65歳以上新規障害除外)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数	4,691人	4,561人	4,561人	4,561人	4,707人	4,707人	
事業の対象者数	4,691人	4,561人	4,561人	4,561人	4,707人	4,707人	
運営資源状況	決算値(千円)	719,782	714,385	714,385	当初予算(千円)	711,662	
	国県支出金	130,221	131,339	131,339	国県支出金	119,737	
	地方債	0	0	0	地方債	0	
	その他	92,392	81,119	81,119	その他	66,673	
	一般財源	497,169	501,927	501,927	一般財源	525,252	
	人員配置数	1.5	1.5	1.5	人員配置数	1.5	
事業経費運営	人件費(千円)	11,410	11,433	11,433	人件費(千円)	11,882	
	総事業費(千円)	731,192	725,818	725,818	総事業費(千円)	723,544	
	市民1人当りの経費(円)	4,120	4,095	4,095	市民1人当りの経費(円)	4,091	
	対象者1人当りの経費(円)	155,871	159,136	159,136	対象者1人当りの経費(円)	153,717	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 社会保険診療報酬支払基金へ診療報酬審査・支払事務を委託することに伴い、公費併用レセプトが使用されることとなり、適正な医療費助成の確保が期待されるため扶助費の減少を見込めるが、審査・支払手数料の増加が見込まれるため予算規模は現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	65歳以上新規障害者の除外や重度障害者の所得制限の導入により、対象者の見直しを行っているが、社会的背景から精神疾患による対象者の増加に伴い、総対象者数の減少は見込まれない。今後は、従来、神奈川県国民健康保険連合会のみであった診療報酬審査・支払事務を、神奈川県社会保険診療報酬支払基金へも委託し、医療費助成の適正化に努め、安定的かつ継続的な運営を確保しつつ、障害者の保健の向上と福祉の増進に努める。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	医療費助成の適正化を継続して検討する。また、神奈川県が平成20年度に医療費助成事業補助金に一部負担金(対象者自己負担)を導入したため、県内各市の一部負担金導入に係る検討状況を把握する。(鎌倉市は、現時点では導入の予定は無い。)
課題解決のために行った平成27年度の取組	平成27年12月1日から、重度障害者にも助成に係る所得制限を実施し、医療費助成の適正化に努めた。また、神奈川県が実施した一部負担金導入に対する県内各市の状況を確認した。
未解決の課題、新たな課題とその理由	医療費助成の適正化を確保し安定的かつ継続的な運営を図るため、今後も引き続きレセプト(診療報酬明細書)点検業務を強化する。

- 解決  
 一部解決  
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	中度身体障害者を対象								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	×	○	×	×	×	×	×
比較事項	中度知的障害者を対象								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	×	○	×	×	×	×	×
比較事項	精神2級障害者を対象								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	×	×	×	×	×	×	×
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県補助金対象外となる上記比較事項について、鎌倉市では現在助成対象としているが、今後も県内他市町村の状況の把握に努め、必要に応じて制度の見直しを検討する。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---